

第35回

日本肢体不自由教育研究大会

【期 日】平成23年8月8日(月)～9日(火)

【会 場】国立オリンピック記念青少年総合センター (ホームページ: <http://nyc.niye.go.jp/>)

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 小田急線(各駅停車) 参宮橋駅下車徒歩10分

主 催 日本肢体不自由教育研究会 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
日本肢体不自由児協会 日本障害者リハビリテーション協会

後 援 文部科学省、東京都教育委員会、国立特別支援教育総合研究所、全国連合小学校長会、
全日本中学校長会、全国特別支援学級設置学校長協会、全国特別支援教育推進連盟、
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会、全国肢体不自由児・者父母の会連合会

特別支援教育は、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う、質の高い教育の実現を目指して動いています。本研究大会では、これまで培ってきた肢体不自由教育の基本的視点を大切にしつつ、今後の方向性を探るために、基調講演と各セミナーを用意しました。お互いに学び合う機会となることを期待し、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 程

	9:15	9:45	10:15	11:45	13:30		17:30	17:45	19:30
8月8日 (月)	受付	開会式	基調講演 (一般公開)	昼食	セミナーA	移動	イブニング セミナー (自由参加)		

- ・ **受付**: カルチャー棟小ホール入口 (午前のみ)
- ・ **開会式**: 金賞・奨励賞授賞式、受賞者による発表
- ・ **基調講演**: 「特別支援教育の動向 ―インクルーシブ教育のシステムの構築に向けて―」
講師: 木船 憲幸 (広島大学大学院教育学研究科教授)
今日、インクルーシブ教育について、様々な議論が行われています。
本講演では、肢体不自由教育の立場から、このことについて考えます。
- ・ **セミナーA (会場: センター棟4階)**
 - 1: コミュニケーション指導の理論と実践
 - 2: 医療的配慮が必要な子供の健康づくり
 - 3: 授業を豊かにする教材・教具の活用
 - 4: 小学部からの一貫したキャリア教育
- ・ **イブニングセミナー 《自由参加》**
参加者が「教科指導」「自立活動」「センター的機能」のテーマのうちから1つを選び、その実践報告をレポートA 4判1枚にまとめ(当日50部持参)、それらをもとに交流を図るセミナーです。

	9:15		11:45	13:15	15:45
8月9日 (火)		セミナーB	昼食		セミナーB

- ・ **セミナーB (会場: センター棟4階)**
 - 1: 見ることへの配慮が必要な子供の指導
 - 2: 障害の重い子供の摂食指導
 - 3: 動作法の理論と実技
 - 4: 読み書きの指導

【参加費】 日本肢体不自由教育研究会会員の方は、10,000円 (非会員の方は、12,000円)

【定員】 300名・申込み先着順。ただし、セミナーごとに別途定員を定めますので、早めにお申込みください。

【受付期間】 平成23年5月16日(月)～7月11日(月)

受付期間中でも定員に達し次第、締切りますのでご注意ください。

申込み方法は、4ページの「申込みの注意事項」をご覧ください。

【申込み・問い合わせ先】 日本肢体不自由教育研究会

電話・FAX 03-3530-2453 メール BDS01411@nifty.com

※受講希望のセミナーを、1日目はセミナーA、2日目はセミナーBからそれぞれ一つずつお選びください。

大会①日目 8月8日(月)

セミナーA (13:30~17:30)

セミナーAでは、特別支援教育における肢体不自由教育の専門性を学ぶ内容を設けました。今日的課題と展望、実践と理論の構築等に迫ります。

A1	<h3>コミュニケーション指導の理論と実践</h3> <p>会場：センター棟4階401室、定員：100名</p> <p>コミュニケーション指導にあたっては、その基本となる発達評価が重要です。障害の重い子供のコミュニケーションの評価と指導を中心に、講義と実践報告を通じて学びます。</p> <p>「コミュニケーション発達の評価と支援」 講師：高見 葉津（東京都立北療育医療センター言語聴覚士）</p> <p>「障害の重い子供のコミュニケーション評価と指導の考え方」 講師：坂口しおり（東京都立府中特別支援学校主幹教諭） 実践報告：吉田 賀恵（千葉県立袖ヶ浦特別支援学校教諭）</p>
	<h3>医療的配慮が必要な子供の健康づくり</h3> <p>会場：センター棟4階402室、定員：100名</p> <p>医療的な配慮が必要な子供の健康づくりに関して、医学的な知識を深めるとともに、実践報告を通じて日常的な関わり方を学びます。</p> <p>「障害の重い子供の健康を守る」 講師：小沢 浩（社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センターはちおうじ所長） 実践報告：白鳥 芳子（東京都立府中特別支援学校教諭）</p>
A3	<h3>授業を豊かにする教材・教具の活用</h3> <p>会場：センター棟4階403室、定員：60名</p> <p>教材・教具の作製・活用にあたっては、児童生徒の実態把握をもとに、適切な課題設定と評価が重要です。講義と実践報告を通じて、明日の授業に役立つ内容を学びます。</p> <p>「子供の精神活動と教材・教具」 講師：立松 英子（東京福祉大学社会福祉学部教授） 実践報告：酒井 康年（社会福祉法人からしだね うめだ・あけぼの学園作業療法士） 中川貴美子（社会福祉法人からしだね うめだ・あけぼの学園児童指導員）</p>
	<h3>小学部からの一貫したキャリア教育</h3> <p>会場：センター棟4階405室、定員：40名</p> <p>近年、キャリア教育の推進が求められています。肢体不自由教育におけるキャリア教育の現状と課題について、講義・演習・情報交換を通じて学びます。</p> <p>「肢体不自由教育におけるキャリア教育」 講師：菊地 一文（国立特別支援教育総合研究所主任研究員）</p>

*セミナーA終了後17時45分から、センター棟403室においてイブニングセミナー（自由参加）を開催します。

セミナーB (9:15~15:45)

セミナーBでは、演習・実技・研究協議を中心に構成し、指導実践に即した内容を設けました。

B1	見ることへの配慮が必要な子供の指導 会場：センター棟4階401室、定員：110名
	見ることへの配慮が必要な子供の指導について、アセスメントと支援の方法などを講義・実践報告・演習を通じて学びます。 「 肢体不自由児の視覚を通じた環境の把握とコミュニケーション—見ることへの配慮が必要な子供の指導— 」 講 師：齊藤由美子（国立特別支援教育総合研究所主任研究員） 実践報告：奥山 敬（東京都立北特別支援学校主任教諭）
B2	障害の重い子供の摂食指導 会場：センター棟4階403室、定員：60名
	摂食指導に関して、初心者や経験の浅い方を対象にしています。障害の重い子供の摂食指導の理念や実態について、講義と演習を通じて学びます。 「 障害の重い子供の摂食指導 」 講 師：芳賀 定（芳賀デンタルクリニック院長） ※実習で使用する平スプーンなどは会場で販売いたしますが、お持ちの方はご持参ください。また、えびせんやプリンなどの実習費として、当日実費350円程度を徴収いたします。
B3	動作法の理論と実技 会場：センター棟4階402室、定員：60名
	動作法に関して初心者や経験の浅い方を対象にしています。動作法の基本的な考え方や技法について学びます。 「 動作法の理論と展開 」 講 師：宮崎 昭（山形大学地域教育文化学部教授） 「 自立活動の指導に活かす動作法 」 講 師：渡邊 涼（東京都立北特別支援学校主任教諭） 実技指導：篠原 弥生（埼玉県立三郷特別支援学校草加分校教諭） 鈴木 芳宏（動作法おおみや／元埼玉県立和光養護学校教諭） 甲斐 博幸（千葉県立印旛特別支援学校教諭） 寺本 光儀（東京都立久留米特別支援学校主任教諭） 綿引 朝香（千葉県立楨の実特別支援学校教諭） 渡邊比呂子（千葉県立市原特別支援学校教諭） ※実技がありますので動きやすい服装をご用意ください。
B4	読み書きの指導 会場：センター棟4階405室、定員：70名
	肢体不自由児への文字の指導について、ことばの概念形成のための指導内容を中心に、教科学習に立つ指導の系統性や留意点などを講義・実践報告・演習を通じて学びます。 「 肢体不自由児に対する文字の指導—初期の発達段階での学習から文字の指導まで— 」 講 師：川間健之介（筑波大学大学院教授） 実践報告：山田 有希（東京都立城南特別支援学校教諭）

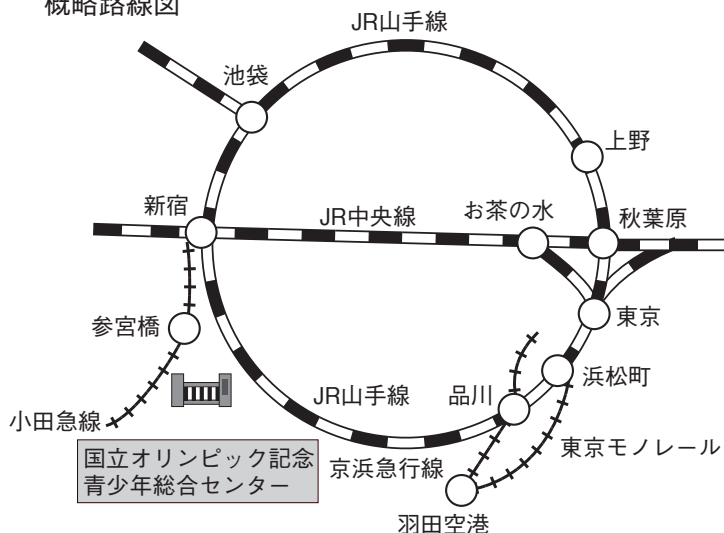
申込みの注意事項

- 本会会員の方は、必ず「肢体不自由教育」誌第200号綴り込みの振替払込書（会員用）を使用し、通信欄の参加申込書に記載の上、参加費をお払込みください。参加費の払込みをもって申込みの受け付けとします。お払込みいただいた参加費は、当日不参加の場合でもお返しできませんので、ご注意ください。
- 会員以外の方は、振替払込書（研究大会参加申込書・一般用）又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口備え付けの振替払込書を使用してください。この場合は、非会員として受け付け、参加費の割引はいたしません。
- A・B両セミナーについて、それぞれ第1希望・第2希望を必ずご記入ください。第1希望のセミナーが定員に達した場合は、第2希望のセミナーに参加として受理いたします。イブニングセミナー参加希望の方は、該当欄に○をご記入ください。
- 1日だけの参加については、お受けできません。
- 払込受領証をもって領収書に代え、改めて領収書の発行はいたしません。
- 参加票は、申込み受付順にお送りします。参加票を、当日必ずご持参ください。

会場への交通（所要時間は目安です。各自でお確かめの上、ご利用ください。）

- 東京駅から（所要時間約40分）
 - 東京駅→（JR中央線）→新宿駅→（小田急線）→参宮橋→（徒歩）→会場
- 上野駅から（所要時間約40分）
 - 上野駅→（JR山手線内回り）→新宿駅→（小田急線）→参宮橋→（徒歩）→会場
- 羽田空港から（所要時間約70分）
 - 羽田空港駅→（京浜急行線）→品川→（JR山手線外回り）→新宿駅→（小田急線）→参宮橋→（徒歩）→会場
 - 羽田空港第1・第2ビル駅→（東京モノレール）→浜松町→（JR山手線外回り）→新宿駅→（小田急線）→参宮橋→（徒歩）→会場
- 池袋駅から（所要時間約25分）
 - 池袋駅→（JR山手線内回り）→新宿駅→（小田急線）→参宮橋→（徒歩）→会場

概略路線図



- *新宿駅でのJRからの乗り換えは、中央地下通路から小田急連絡改札口の利用が便利です。
- *会場は、小田急線（各駅停車）新宿駅から2つ目の参宮橋駅下車徒歩10分。駅改札口を出て左折し100メートル先の案内板に従い左折して、踏切を渡り右折します。
- *1日目午前の受付は、国立オリンピック記念青少年総合センターの正門に入って左手のカルチャー棟1階小ホール入口です。
- *大会会場への乗用車で来場はお断りします。

その他

- 講義室内での食事は禁止となっていますので、昼食は、国立オリンピック記念青少年総合センター内のレストランをご利用ください。
- 国立オリンピック記念青少年総合センターには、宿泊施設があります。大会参加者は、宿泊することが出来ますので、ご希望の方は事前に電話（03-3469-2525）でお問い合わせの上、ご予約ください。
- 講師等の都合によっては、日程の一部変更があることをご了承ください。